

定例会で所信表明

を目指します

る前に登壇し、今後の町政運営の基本的な考え方を、



基本方針

☆「人が元気、地域が元気、住んでよかったまち」を目指します

① 対話の行政

町民の目線で物事を考えます。

② 情報の共有化

行政情報を積極的に発信します。

③ 町民との協働

協働を職員と一緒に推進し、地域に根付かせます。

主要な施策

☆子育て・教育・福祉を充実させます

幼児期における読み聞かせなど、本との出会いは創造豊かな人を育むと言われています。

子どもたちとその保護者、そして文化、教養を高め、楽しむ人たち、団塊の世代の方々が「ふれあい、交流」できる身の丈にあった「人が集う」拠点施設を、就業改善センターを改築して整備していきます。

みんなで子どもの成長を見守り、誰もが子育てしやすい町を目指すため、①学童保育をはじめとする、地域における子育て支援サービスの充実②保育サービスの充実③子育て支援のネットワークづくりなどの課題を具現化するため、平成19年4月から専従の職員を配置し、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

教育環境の整備については、子どもたちが意欲を持って

学び、伸び伸びと成長できるように、さらなる充実を目指して、重要な施策として今後取り組みしていきます。

また、高齢者や障害のある方が、安心して暮らせるまちづくりも大切です。

そのため、介護や福祉、医療に関する役場の相談窓口が、訪れた町民にとって、よりわかりやすく、相談しやすいものとなるよう、機能の充実を図るとともに、専門家による暮らしの無料相談会を新たに実施していきます。

現在、実施している各種健康づくり事業についても、しっかりと取り組んでいきます。



つどいの広場

☆行財政改革を着実に実現し、住民サービスを向上させます

行財政改革の最終目標は、町民一人ひとりが未来に希望を持てる暮らしが実現できる改革であると考えます。

そのためには、何よりも町民と役場がしっかりとビジョンのもとに、まちづくりの課題を共有し、信頼で結ばれ、手を携えていかなければなりません。

まずは、私自身の行動や町政に対する考え方を含め、町政情報を積極的に公開し、町民や職員との情報の共有を一層進めていきます。

その施策の一つとして、